

松監事第19-1号  
令和3年8月23日

松本市長 臥 雲 義 尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一  
同 竹 本 祐 子  
同 上 條 俊 道

### 令和2年度財政健全化審査意見書

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により審査に付された実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、下記のとおり意見を提出します。

#### 記

##### 1 審査の対象

健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

##### 2 審査の期間

令和3年6月1日から令和3年8月22日まで

##### 3 審査の概要

財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率の算定と、その算定の基礎となる事項を記載した書類の作成が適正に行われているかどうかを主眼として実施しました。

#### 4 審査の結果

審査に付された次の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められました。

区 分	令和2年度	令和元年度	(参考)早期健全化基準
	%	%	%
実質赤字比率	—	—	11.25
連結実質赤字比率	—	—	16.25
実質公債費比率	3.7	4.2	25.0
将来負担比率	—	—	350.0

※ 「—」は、実質赤字額又は連結実質赤字額がないこと、将来負担比率については、将来負担額より充当可能財源が多いことを示します。

#### 5 附帯意見

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、前年度と同様黒字となっており、該当なしとなっています。

実質公債費比率については、指標となる3か年平均で0.5ポイント低下し、前年度よりも改善しています。

将来負担比率については、将来の負担額よりも地方交付税で措置される見込み額や基金の現在高を合わせた額の方が多いことから、昨年度に引き続き該当なしとなっています。

以上のとおり健全化判断比率を構成する4つの項目は、いずれも良好な状態です。

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響等が見込まれ、また、複数の大型公共施設の建設事業がありますが、今後も健全財政の維持に努めてください。

また、財政状況が健全であることについては、市民が理解しやすく、分かりやすい情報を発信してください。